

ヨコハマ人・まち

～まちへ人がまちをつくる～

vol. 49

発行：横浜市 都市整備局 地域まちづくり課

TEL 045-671-2696 FAX 045-663-8641 Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp

取材・編集：NPO法人 アクションポート横浜

TEL / FAX 045-662-4395 Email: info@actionport-yokohama.org

1P～3P まちづくりが楽しい！

4P

ヨコハマ市民まち普請事業
まちづくり × 地域貢献企業 × 横浜市による
まちづくり大作戦開催レポート



まちづくりが

楽しい！



市民の皆さんの中には、地域の課題解決や魅力向上を目指して、自ら活動している人たちがいます。

その取組は、高齢者の孤立、子どもの貧困、商店街のシャッター通り化など、今、地域で起きている課題を肌で感じ、立ち向かっていると考えることができます。

「まちづくり」は、人や地域を思う気持ちによって行われていて、「まちづくりびと」の皆さんは「楽しむ」気持ちで自ら意欲的に活動しています。

今年、そうしたまちづくり活動の推進・支援を目的とした「横浜市地域まちづくり推進条例」が施行されて10周年を迎えました。

今回の「ヨコハマ人・まち」では、市民のみなさんが中心となって活動する「ヨコハマらしい魅力的な地域まちづくりの事例」をご紹介します。



「NPO法人ぐるっと緑道」による中川駅前での整備の様子



「東久保夢まちづくり協議会」の皆様



「NPO法人こどもクラブ」が開催した小学校での木工教室の様子



「子どものワークショップ」が開催したイベントの様子

A 団地の活性化(子育て支援等) 深谷台地域運営協議会(戸塚区)



- 戸塚区のドリームハイツで団地の少子高齢化に伴う諸問題を自ら解決していくことを目指し、子育てや高齢者の一人暮らしの不安解消に取り組んできました。今では地域の10数団体が協力し、みまもりネットセンター、子どものアフタースクール等、継続的な活性化の取組を行っています。
- 横浜市の「身近な地域・元気づくりモデル事業」のモデル地区となったことを機に、ドリームハイツ地域運営協議会が発足。その後、発展的に深谷台地域運営協議会に移行しました。
- 「継続こそ力なり、ただしマンネリはダメ。絶えず新しい工夫を。」
- 身近な地域・元気づくりモデル事業、地域の見守りネットワーク構築支援事業、横浜・人・まち・デザイン賞
【HP: <http://www.drnsansan.jp/>】

B ミニバスで地域の足を確保 コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会(旭区)



- 丘陵地で坂道の多い地域に、コミュニティバス(乗合バス)の運行を実現させました。車内は、話し相手の少ない高齢者の社交の場としても役立っています。また、隣の町内の人とも挨拶するなどつながりも生まれました。
- 区連会で横浜市でのミニバスに関する事業の存在を知り、「やってみよう」と手を挙げたことがきっかけで始まりました。
- 「地域の方で交通手段の導入を実現しました。まずは試験を受ける気持ちでトライしてみてください。」
- 地域交通サポート事業、地域まちづくり活動助成、コーディネーター派遣、横浜・人・まち・デザイン賞
【HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/madoguchi/kusei/kikaku/combust/>】



- 活動の概要
- 活動を始めたきっかけ
- これからまちづくりに携わろうとしている人へのメッセージ
- 活用した・活用している制度、受賞歴

各事例で活用されたまちづくり制度(Web検索ワード)

- 施設整備で地域課題の解決、魅力向上を図りたい (Fで活用) **まち普請**
- まちづくりの専門家のアドバイスがほしい(B、E、Fで活用) **まちづくりコーディネーター**
- 災害に強いまちづくりに取り組みたい(Eで活用) **横浜市 防災まちづくり**
- まちづくりに関する基金を活用したい (D、Gで活用) **よこはま夢ファンド**
- 高齢者のみまもりの輪を広げたい (Aで活用) **地域の見守りネットワーク構築支援事業**
- 環境保全活動を推進したい (Gで活用) **横浜市環境保全活動団体助成金**
- 子どもの健やかな育成のために活動したい (Cで活用) **子どもゆめ基金**
- 地域の課題解決を図りたい (Aで活用) **身近な地域・元気づくりモデル事業**
- 【その他のまちづくり制度】 **地域まちづくり支援制度**

C 里山で自然体験 子どものワークショップ(青葉区)



- 子どもと行う環境整備、森の手入れ、イベント、育成事業の実践研究等の実施。来場者間で、子育てなどについての意見交換が生まれ、活動への賛同者も広がっています。
- みんながのびのびと楽しめる場所が、地域の自然の中にあって欲しいという思いから始まりました。
- 「今も試行の日々。できることを少しずつでもいいので積み上げていくことです。」
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構の基金等
【HP: http://www.childws.com/kodomo_ws/zidomonowakushoppu.html】

D 川辺の保全活動 NPO法人 鶴見川流域ネットワーク(港北区)



- 流域で活動する市民団体と連携、助け合いながら、川の清掃活動や環境保全、自然体験型学習支援に取り組んでいます。「流域」という括りで活動する様々な市民が連携・交流することで、行政区分をまたぐ「流域市民」という意識が生まれています。
- 流域全体のイベントで13団体が連携し、ネットワークがスタート。
- 「足元を流れる川を手がかりに、新しい『まちづくり』に参加してみませんか。環境・防災・教育などまちづくりの新しい発見・出会いが沢山あります。」
- よこはま夢ファンド、横浜・人・まち・デザイン賞
【HP: <http://www.tr-net.gr.jp/>】

E 災害に強いまちづくり 東久保夢まちづくり協議会(西区)



- 3つの自治会と町内会が連携し、東久保町防災まちづくり計画を策定。計画に沿って、雨水タンクやかまどベンチ、掲示板など、防災のための多様な整備を実施しています。防災用品の整備や維持管理の財源として、女性たちが中心になって月に一回程度開催する「夢やさい」(野菜市)では朝採れの野菜を販売しています。
- 急な坂や細く曲がりくねった道が多い東久保町。防災上課題のある地区として選定されたことをきっかけに、防災のまちづくり活動を始めました。
- 「最初は面倒くさいと思ったけれど、自分たちで行動することの大切さを学びました。何事もやってみることで。」
- まちの不燃化推進事業(「いえ・みち・まち改善事業」から移行)、地域まちづくり活動助成、コーディネーター派遣
【HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/kuyakusho/iemichi/higashikubo.html>】

F 遊歩道の整備・商店街の活性化 NPO法人ぐるっと緑道(都筑区)



- 地下鉄ブルーライン中川駅南地区を再生する活動。現在は法人格を取得して、プロジェクトごとに多くの人やグループが関わって、大きな協力の輪ができています。
- 駅前商業地区を住民の手で安心・安全で魅力的にしようと、クリーン作戦や危険道路の改善に取り組んだことがきっかけです。
- 小さなことから改善を進め、地域の様々なグループ、団体や行政と協力の輪を広げていきましょう。
- ヨコハマ市民まち普請事業、地域まちづくり活動助成、コーディネーター派遣
【HP: <http://cafenakagawa.jp/grtrd/>】

G 木を使ったワークショップの開催 NPO法人こどもリクラブ(磯子区)



- 子どもたちが日本の木材に親しみ、自然や地球環境に興味を持てるように、親子木工教室を開催。他団体との合同イベント、自治会や町内会との連携、小学校で活動を行うなどのつながりが広がっています。
- 子どもたちが年輪を見たこともなく、言葉自体も知らないことを知って、活動を始めました。
- 地元で頑張っていれば、必ず賛同し、協力してくれる仲間が出てきてくれます。ぶれない軸をしっかりとって頑張りましょう!
- 横浜市環境保全活動団体助成金、よこはま夢ファンド
【HP: <http://kodomoriclub.jp/>】

まちづくりコーディネーターとしての10年を振り返る

内海 宏 (株式会社 地域計画研究所 代表、横浜市まちづくりコーディネーター)

まちづくりコーディネーター(専門的な知識や資格を持つまちづくりの専門家)の派遣は、平成8年度に住宅地まちづくり支援制度の創設によりスタート。この10年間は、まちづくりルールの導入や更新、防災まちづくり、ヨコハマ市民まち普請事業、地域交通サポート事業、地域課題の把握・解決策の検討など、多様な取組の支援を行ってきました。

私が関わった団体等には、市民目線の想いを明確にし共有すること、地域の公共意識を広げること、法制度に思いやり越えること、急がば回れの合意形成をいとわないことの大切さを具体的に伝えてきました。

今では、主体性や解決力が身に付き、苦しさを乗り越える楽しさまで感得した市民による地域のまちづくり活動の存在を心強く感じます。



地域まちづくり課が目指す市民主体のまちづくり

市民の皆さんが主体となって、地域の課題解決や魅力向上を図ることによって、その地域ならではの「まちづくり」が図られていきます。

地域まちづくり課は、市民の皆さんが自分たちの未来のために暮らしやすいまちをつくる活動を進める際の、協働のパートナーと考えています。

大変なこともあるかもしれませんが、地域まちづくり課が伴走します。一緒にまちづくりに楽しく取り組みませんか。

【地域まちづくり課HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/top/>】





ヨコハマ市民
まち普請事業

まちづくり市民×地域貢献企業×横浜市による

まちづくり大作戦 開催レポート

平 成27年9月26日(土)、株式会社富士通エフサス様のご協力のもと「みなとみらいInnovation & Future Center」にて、「まちづくり大作戦」を開催しました。例年実施している「一次コンテスト通過グループ活動懇談会」に加えて、今年度が初めての取組である「企業マッチング会」との二部構成で行いました。

午 前中の「活動懇談会」では、審査員、アドバイザーとして過去に整備を終えたグループの方々から、一次コンテスト通過グループに対して、二次コンテストに向けた取組への具体的なアドバイスがありました。特にまち普請事業の実践者であるアドバイザーや市民委員のご自身の経験に基づいた意見には、会場からも感心の声が上がりました。

午 後の「企業マッチング会」には、市内各所から地域貢献意欲の高い企業18社が参加し、一次コンテストを通過したグループからの提案内容の発表を聞いた後、各グループと企業が「まちづくり」について意見交換を行いました。参加した企業担当者からは「提案グループの地域に対する熱心な思いを知り、協力を検討したいと思った」という声が聞かれました。

今 後は、各グループと企業とが協議を進め、具体的な協力関係を築いていくことになります。これまで



の市民と行政が協働する仕組みをさらに発展させ、地域社会の重要な一員である「企業」が参加できるプログラムを設けることで、「地域のまちづくりに取り組む市民」「地域貢献意欲の高い企業」「横浜市」の三者の協働による、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりの実現を、今後も図っていく予定です。

今 回のイベントで得られた情報やつながりが、来年の1月31日(日)の二次コンテストに向けて、どのように活かされていくのかとても楽しみです。



地域まちづくり課 “公認” Facebook 「ヨコハマ市民まち普請ひろば」

Facebookに登録していなくても誰でも見られます。

まち普請ひろば 検索 クリック

既にFacebookに登録されている方は、是非「いいね!」をよろしくお願い致します。

(Facebookページの運営は協働事務局のNPO法人アクションポート横浜が担当しています)

ヨコハマ市民まち普請事業とは…

地域住民の思いを形にすることでコミュニティの広がりをつくることを目的として、市民提案によるハード整備を支援しています。1年を通して行われる、2回の公開コンテストを通過した提案に対して、翌年度上限500万円の整備助成金を交付しています。参加団体が相互支援できる仕組みづくりにも取り組んでいます。

詳しい情報は、横浜市のホームページでご覧いただけます。

まち普請 検索 クリック

事前相談も随時受付中!

まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取組などの情報を下記までお知らせください。

メールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

《情報提供のあて先》

横浜市 都市整備局 地域まちづくり課

Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」のメールマガジンは地域まちづくりに関心のある方々への転送、お誘い大歓迎です。

メールマガジンの配信申し込み・停止は、ヨコハマ人・まち 検索 クリック